



西大和学園補習校 中学部

国語1 科 / 月 23 日の連絡

7 年 さんへ

※今日の学習内容

少年の日の思い出
「ぼくのちやう集めへの熱情」について読みとる

※今日の宿題

音読「少年の日の思い出」

7-7p111~113

漢字プリント②

書きうた課題「少年の日の思い出」の中の好きな場面を書いてくる

※来週の予定

少年の日の思い出

※連絡事項

Blank box for contact information.

1 この作品は大きく二つの場面に分けることができる。構成をとらえながら、指示に沿って内容を確認しよう。

前半		後半	
現在		過去	
思い出を語るきっかけ	どんな思い出か。Ⅱ()思い出。そのときを表す情景描写を抜き出そう。()	I ()歳のころ ちよう集めに熱中する「僕」の様子を表す表現を抜き出そう。 ちよう集めに熱中しているときの「僕」の気持ちを表す表現を抜き出そう。	Ⅱ ()歳のころ 「僕」が起こした事件の展開を確認し、まとめよう。 ・「エーミール」の留守中に、生まれて初めて()。 「そのときの気持ち」Ⅱ()。 ・良心に目覚め()とするが、ちようはつぶれてしまっていた。 「そのときの気持ち」Ⅱ()。 ・母に打ち明け、()よう頼みに出かける。 「エーミール」のとつた態度Ⅱ()。 「僕」が悟ったことと、その後の行動Ⅱ()。 悟ったことⅡ()。 行動Ⅱ()。

2 Iの場面から、「僕」と「エーミール」の関係を読み取ろう。

①「僕」から見た「エーミール」の人柄を表している表現を抜き出そう。

②①の表現に着目して、「僕」の「エーミール」に対する気持ちを考えよう。

7年生国語1「少年の日の思い出」②漢字練習

教科書P178～194

() 年 氏名 ()

※おくりがなも書きましょう。

- ① 盗みをおかす。
- ② ぼくは下劣^{げれ}なやつだとどとる。
- ③ 額にあせをかく。
- ④ イツサイを母に打ち明ける。
- ⑤ バツを受ける。
- ⑥ 羽をタンネンに広げる。
- ⑦ 彼はレイタンに構えていた。
- ⑧ 彼はイゼン僕を軽蔑^{けいべつ}的にみつめる。
- ⑨ つぐないができないものである。
(P194)
- ⑩ ニンタイリヨクをつける。
- ⑪ 寒さをしのぶ。
- ⑫ 損害をバイショウする。
- ⑬ あやまちをつぐなう。
- ⑭ チジヨクをそそぐ。
- ⑮ 軽率な行動をはじる。
- ⑯ 腰をすえて物事に取り組む。
- ⑰ くぎをさす。
- ⑱ 琴線^{きんせん}にふれる。(心に深く感じ入ること)
- ⑲ りっぱなかどまつを作る。
- ⑳ 野菜のシユツカ先を調べる。

①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		
⑯		
⑰		
⑱		
⑳		



西大和学園補習校 中学部

<教科名> 国語②

1月23日の連絡

7年

※今日の学習内容

漢字の学習 P50 ⑥-⑲, P52 ①-③
P51

漢字テスト No. 30②, 31①

※今日の宿題

漢字の学習 本時の学習箇所 P50 ⑥-⑲, P52 ①-③
P51 P53

プリント No. 31②, 32①

※1月30日の予定

漢字の学習 P52 ④-⑲
P53

漢字テスト No. 31②, 32① (本日の宿題プリント)

※連絡事項

学年末テスト範囲 漢字の学習 P32 ~ P53

よみ読み 50問 100点満点

書き40問

短文作り 5問 } 合計 100点満点

総計200点

国語② 七年 各宿題

NO.30
②

西大和学園補習校 七年 漢字テスト	
①	ゆうがなはねをもつとり。
②	ゆうわくにまけない。
③	ぬすみをあかす。
④	あやまりをたぬ。
⑤	びたいにあせをかく。
⑥	いさいをうちあける。
⑦	はつをうける。
⑧	いせんとしてたむ。
⑨	しみのふかいをする。
⑩	にんたがやくをうける。

1月30日テスト



西大和学園補習校 七年 漢字テスト	
名前	
⑪	せんがいをばいしうする。
⑫	ちびやくをうける。
⑬	けいせいのひらき。
⑭	
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	

西大和学園補習校 七年
漢字テスト

①②の漢字を讀みかき
つけましよう。又林の後の詩
を使って短文を作りましよう。

① 琴線に触れる言葉

② 腰と据える。

③ 門松を飾る。

④ 専門分野を究める。

⑤ 穀物を出荷する。

⑥ 文末に余韻を残す。

⑦ 倒置法で強調する。

⑧ 対句を用いた詩。

⑨ 擬人法で表す。

⑩ 新しい靴を履く。

1月30日テスト

★

西大和学園補習校 七年
漢字テスト

名前

① 抽象的な話

② 隠喩を使った表現

③ 琴線に触れる(意)

④ 腰と据える。

⑤ 究める。

⑥ 出荷する。

⑦ 余韻

⑧ 抽象的

⑨ 倒置法とは?

⑩ 擬人法とは

西大和学園補習校七年 漢字テスト	
①～⑬の漢字に読みがなを 付なさい。★の後の語句を 使って短文を作りなさい。	
①	優雅な羽をもつ鳥。
②	誘惑に負けない。
③	盗みを犯す。
④	誤りを悟る。
⑤	額に汗をかく
⑥	一切を打ち明ける。
⑦	罰を受ける。
⑧	依然として寒い。
⑨	罪の償いをする。
⑩	忍耐力をつける。

1月23日テスト



西大和学園補習校七年 漢字テスト	
名前	
①	損害を賠償する。
②	恥辱を受ける。
③	軽率な行動
①	優雅
②	誘惑
④	悟る
⑥	一切
⑧	依然
⑩	賠償
⑫	恥辱



西大和学園補習校 中学部

<教科名>数学

1月23日の連絡

7年

※^{きょう}今日の^{がくしゅうないよう}学習内容

○第5章空間図形5 ワークを使つての演習 (ワーク p.102-103)

※^{きょう}今日の^{しゅくだい}宿題

○ワーク p.102-103 (授業で扱えなかつた残り)

※ 1月30日の^{よてい}予定

○第7章空資料の活用 (教科書 p.186 -p.193)

※^{れんらくじこ}連絡事項

--



西大和学園補習校 中学部

<教科名> 社会

1月23日の連絡

7~9年

きょう がくしゅうないよう
※今日の学習内容

教科書 p.202-209

きょう しゅくだい
※今日の宿題

教科書 p.210 ~ 215 の 書読と 語句ノート作成
問題集 地理2 p.62 ~ 68

よてい
※1月30日の予定

教科書 p.210 ~ 215

れんらくじこう
※連絡事項



西大和学園補習校 中学部	
理科	1月23日の連絡
年	さん

※今日の学習内容

教科書 (サイエンス1) p 64~71 地震のゆれはどのように大地を伝えるのだろうか
ワーク p 33~35

※今日の宿題

ワーク (理科の学習1) p 33, 36, 48

※次週の予定

教科書 (サイエンス1) p 72~73 地震はどのようにして起こるのだろうか
教科書 (サイエンス1) p 78~80 地層はどのようにしてできるのだろうか

※連絡事項

1月から、またサイエンス1の教科書を使います。
サイエンス1の教科書とワーク (理科の学習1) を持ってきてください。

地震が発生した時刻を求めよう！

例題 次の表はある地震が発生した際のA・B地点の震源からの距離と、P波・S波が到着した時刻を表したものである。下の問いに答えなさい。

地点	震源からの距離	P波の到着時刻	S波の到着時刻
A	50km	8時23分30秒	8時23分40秒
B	100km	8時23分40秒	8時24分00秒

(1) P波の速さを求めよ。

考え方 A地点からB地点までの距離は100km - km = km。P波の到着時刻の差は10秒なので、 km ÷ 秒 = km/秒 答： km/秒

(2) この地震が発生した時刻を求めよ。

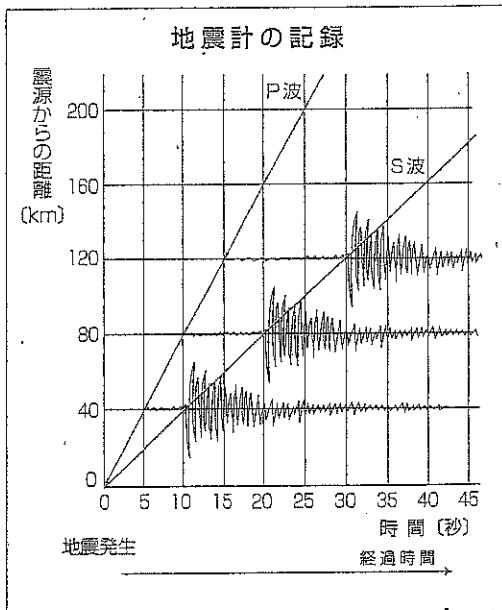
考え方 A地点は震源からの距離が50km。また、P波の速さが(1)より km/秒なので、地震が発生してからA地点にP波が到着するまでにかかった時間は、50km ÷ km/秒 = 秒。よって、地震が発生した時刻は、A地点にP波が到着した時刻(8時23分30秒)の 秒前ということなので、地震が発生した時刻は、8時23分 秒となる。

答：

(3) B地点の初期微動継続時間を求めよ。

考え方 初期微動継続時間は、S波が到着した時刻からP波が到着した時刻を引き算することと求める。8時24分00秒 - 8時23分 秒 = 秒 答： 秒

問題 2 下の図はある地震が発生したときの各地の地震計の記録をグラフにまとめたものである。このグラフを利用して次の問いに答えなさい。



(1) P波の速さを求めよ。

ヒント グラフより震源から40kmの地点に伝わるのに5秒かかる。 km/秒

(2) S波の速さを求めよ。

ヒント グラフより震源から40kmの地点に伝わるのに10秒かかる。 km/秒

(3) 40km地点の初期微動継続時間を求めよ。

ヒント グラフより到着時刻の差を読みとる。 秒

(4) 120km地点の初期微動継続時間を求めよ。

 秒

(5) 120km地点の初期微動継続時間は、40km地点の初期微動継続時間の何倍か。 倍

(6) (5)のことから、震源からの距離と初期微動継続時間には、どのような関係があるといえるか。

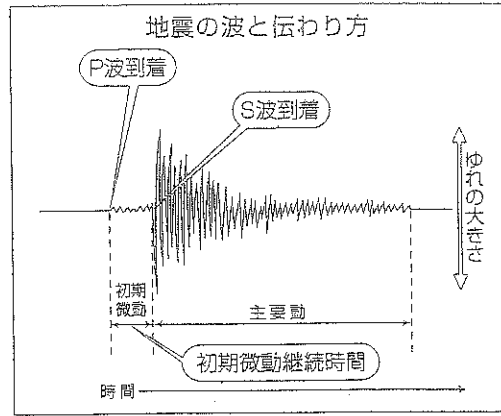
地震の波と伝わり方

地震が発生すると2種類の速さのちがう波が発生し、まわりに伝わります。

最初に発生する小さなゆれが初期微動(P波によって伝わる)で、初期微動がしばらく続いた後にくる大きなゆれが主要動(S波によって伝わる)である。

P波とS波の到着時刻の差を初期微動継続時間といいます。

右の図は地震が発生した際にある地点で観測された地震計の記録です。

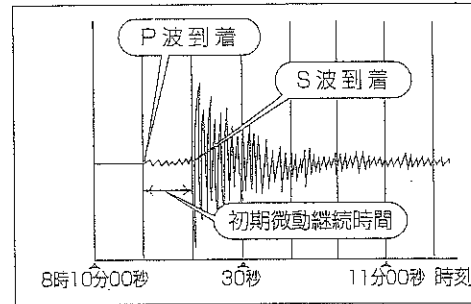


グラフから読みとろう！

問題) 1) 右の図から次の数値を読みとりなさい。

- (1) P波が到着した時間 _____
- (2) S波が到着した時間 _____
- (3) 初期微動継続時間 _____ 秒

ヒント 到着時刻の差を求めろ。



波の速さを求めよう！

問題) 上の図で、地震が発生した時刻は8時10分00秒、震源からの距離は80kmであった。この地震のP波とS波の波の速さを、それぞれ求めなさい。

Point! ここを確認！

速さの求め方

速さ = 距離 ÷ 時間

- (1) P波の速さの求め方
 - 震源からの距離…… _____ km
 - 地震発生時刻からP波が到着するまでの時間…… _____ 秒
 - 速さ = 距離 ÷ 時間 = _____ km ÷ _____ 秒 = _____ km/秒
 - 答: _____ km/秒
- (2) S波の速さの求め方
 - 震源からの距離…… _____ km
 - 地震発生時刻からS波が到着するまでの時間…… _____ 秒
 - 速さ = _____ km ÷ _____ 秒 = _____ km/秒
 - 答: _____ km/秒

Point! グラフや問題文から“震源からの距離”と“地震が発生してからそれぞれの波が到着するまでにかかった時間”をさがし出そう。あとは公式にあてはめて計算すると、速さがでてくるよ。

速さを計算すると、答えは必ずP波の速さの方がはやくなるよ。